

意見交換会実施報告書（各種団体）

【1班】

開催団体	薩摩川内市企業連携協議会	参加人員	2人			
開催日時	平成28年2月17日（水）15:00～17:00					
開催場所	割烹旅館 安藤					
出席議員 （担当）	議員名	出欠	担当	議員名	出欠	担当
	持原 秀行	○		福元 光一	○	
	井上 勝博	○		徳永 武次	○	
	佃 昌樹	○	司会進行	帯田 裕達	○	記録
	今塩屋 裕一	○				

意見交換の内容

（凡例 ◆団体の意見 ◇議員の意見）

・ 薩摩川内市企業連携協議会の活動内容と今後の課題について

意見交換に先立ち、市企業連携協議会から、現状について説明があり、その後、意見交換を行った。

《意見交換の概要》

- ◇ 協議会の会員のメリットは。
- ◆ 会員企業の課題解決、異業種・同業種による技術交流・提携等が図れることである。
- ◇ 今後、スマコミライトの販路拡大の状況はどのようになっているのか。
- ◆ 安心・安全の観点から需要はさらに広まる。コスト削減を図り全国・世界に発信する。
- ◇ 産業支援センターとのマッチングについては、どのようになっているのか。
- ◆ 異業種企業が相談相手であるため、それぞれ専門職の対応が必要である。今後、センター長及び副センター長と連携し、本市の発展につなげたい。
- ◇ 商工会議所、商工会にも同じような取り組みがあると思うが、協議会の特色を生かすことは考えているのか。
- ◆ 各団体が個々で同じように取り組んでいる部分はあるが、連携しながら独自の戦略で市経済発展につなげたい。
- ◇ 農業との関わりはどのように考えているのか。
- ◆ 野菜、フルーツ、米などの農家で成功された方々の事例をデータ化し、TPPを視野に生産、販路へつなげたい。
- ◇ 甕島の特産品の開発、販路拡大については、どのように考えているのか。
- ◆ 食品部会に甕島の会員も参加していただいている。今後は、市内加工業者等との連携も視野に取り組んでいきたい。
- ◇ 本市はエネルギーのまちとして各種事業に取り組んでいるが、協議会としての取り組みはどのようになっているのか。
- ◆ 設立して2年だが、内からだけでなく外からも本市をみる機会が多くあるので、協議会内でも意見交換を行い、取りまとめたから進めたい。
- ◇ これからの展望は。
- ◆ 地元企業の活性化を推進するため各会員を回り、意見交換を進め、本市の発展に努めたい。

《主な要望等》

- ◆ 本日の意見交換会を機に、協議会の活動を理解していただき、支援をお願いしたい。